

全国一般全国協

2013年11月8日 No.119

全国一般労働組合全国協議会

編集発行人 渡辺 啓二

東京都港区新橋5-17-7 小林ビル

TEL03-3434-1236 FAX03-3433-0334

URL: <http://www.nugw.jp/>Email: nugw@nugw.jp

第23回定期大会(東京品川)

13年末闘争から14春闘へ！帰趨を決する6ヶ月を全力で闘おう！

衆参両院での与党圧倒多数を背景に安倍政権の暴走が続く中、秘密保護法を皮切りに、戦略特区・TPP加盟・労働法改悪など労働者が国民にとって譲れない課題

12・13 派遣法改悪阻止！日比谷大集会へ全国から結集しよう！
2014春の被災・被曝3周年福島集会・東京中央大集会へ怒りの福島
東京キャラバンを組織しよう！

9月開催された全国協第23回大会は、「今秋から本格化する安倍政権の安保集団自衛権容認、消費増税・TPP参加・(略)・派遣法の骨抜き等労働ビックバン強行、原発容認・輸出策動などの大暴走は、必ずや労働者大衆の怒りに迎えられるであろう」と宣言し、全国から成功裏に活発な討論を締めくくった。なお、本大会では役員選出がなく、22期役員が継続している。

今や怒りを組織し、闘いを準備する秋である。大いに奮闘しよう！

が、今臨時国会から来春にかけて目白押しである。

安倍政権の《日本復興計画》は、「世界で一番企業が活動しやすい国づくり」「戦争のできる国づくり」である。その手始めが今

“成長戦略”国会だ。安倍政権のアベノミクス政策…「3本の矢」は、異次元の金融緩和による株高・円安誘導、際限なき財政出動・景気刺激、そして雇用・労働分野の大幅規制緩和による企業成長である。公共事業対策↓財政赤字増大↓規制緩和構造改革↓賃金低下と格差拡大↓デフレを招いた「失われた20年」の政策を、

さらに強引に焼き写しただけである。この間、実態経済は停滞したまま、大企業

内部留保は増大し、グローバル企業の国境を超えたカネと利益が拡大した。そして労働者に貧困と格差の拡大・非正規雇用の増大をもたらしただけであつた。再び同じ政策を押し通すことはできない。世界経済全体

が出口なき苦闘を続けている中では、更なる混乱と破綻が待っているだけだ。だからこそ、安倍政権は社会保障を切捨て、震災・原発災害の復興を置き去りに「戦争のできる国づくり」で力づくでも押し切る準備を始めているのだ。安倍暴走政権を許さず全力で闘おう

14春闘で大幅賃上げを勝ち取るう！

世界的な資源高騰と円安誘導による物価上昇が始まっている。雇用の不安定化、賃金の抑制、労働条件の悪化が進む中で、消費税3%増税が強行される。生活破壊が目に見え。

連合は、政権の要請を頼りに「1%ベースアップ」を決めた。中小企業・非正規

労働者の本格的賃上げが必要だ。闘いなしに賃金は上昇しない。私たちは増税・物価上昇に留まらない賃上

げを「闘い」取る。未組織職場では、追出し部屋や能力評価などによる人権否定の強引な人減らしも進んでいる。経営労務政策の動向をしつかりとチェック・規制する闘いを基礎にして、生活実態に基づく大幅賃上げを実現しよう。

14春闘の重要課題として、労働保護法破壊反対、脱原発共生社会実現の取り組みについて職場で討論を巻き起こそう。

スケジュール

- ★12/13 (金)
23期第2回中央執行委員会
12:30より @新橋
- ★12/13 (金)
労働法制改悪反対大集会
18:30より @日比谷野音
- ★12/14 (土)
'14けんり春闘発足集会
13:00より
@水道橋/韓国YMCA会館
- ★ 1/26 (日)
各県代表者会議

安倍政権の雇用破壊を許すな

12・13 労働法制改悪反対全国集会へ

日比谷野音、午後六時半より

10月16日「労働者派遣の規制緩和と『ブラック企業特区』に反対する集会」が、日本労働弁護団の主催で、御茶ノ水の連合会館において開催され、一五〇名が参加した。

開会の挨拶で、会長がまず「解雇特区粉砕のための闘い」を呼びかけた。

労働弁護団からの報告として、初めに水口幹事長が、「全面的雇用ルールの破壊が進行している」と訴え、産業競争力会議の特区ワーキンググループが労契法16条解雇無効の適用除外を狙っている等を指摘した。次に、森常任幹事が、8月20日の「今後の労働者派遣制度の在り方に関する研究会報告」



が「常用代替防止を破壊し完全自由化をめざしている」等々と批判し、雇用ルールを全面破壊する「アベノミクス粉砕」を訴え、12月13日の日比谷野音の全国集会を呼びかけた。ナショナルセンターを越えて8人が労働者・労働組合からの発言を次々におこなった。最後に、「安倍政権の雇用破壊に反対する決議」を上げた。



また10月23日、全国一般全国協と全労協は、中小政策ネット、全港湾、全労連やMIC（日本マスコミ文化情報労組会議）とともに、参議員会館において院内集会を開催して、「安倍政権の雇用破壊に反対する共同アクション」を結成した。

「福島を忘れるな！再稼働を許すな！」 十・二三原発ゼロ・統一行動に4万人

秋の気配が強まるがまだ太陽の日差しがまぶしい十月三日日曜の午後、日比谷公園から国会議事堂周辺に、「再稼働反対！」「安倍首相はウソをつくな！」などの声が響き渡りました。

この日は、さような原発一千万人アクション・原発をなくす全国連絡会・首都圏反原発連合の共催で、午後一時からの「日比谷公会堂集会」、二時からの「巨大デモ」、17時からの「国会前大集会」の連続行動が行われました。

全国一般全国協の仲間は「巨大デモ」からの参加でした。労組のデモ隊列が最後尾に近かったせいか、二時に出発するはずのデモが四時近くまでかかったのは驚きでした。

安倍首相が「日本を世界で一番企業が活躍しやすい国にする」と豪語して、労働法制の規制緩和を、すなわち派遣の全面解禁、ホワイトカラーエグゼンプション導入、特区創設・解雇規制緩和などを、一挙に押し進めようというのだ。断固反対していこう！

生きる！360頭の被ばく牛「希望の牧場」
(福島県浪江町)



宮城全労協が昨年始めた「スタディ・ツアー」を今年も継続しています。福島コースでは、牧場を守る浪江町の牧場主吉沢さんの生々しい話を聴くことが出来ます。

宮城コースでは、多数の生徒が犠牲となった大川小学校、学校と同じ町内で未だ海水が引かない長面（ながつら）地区の様子などを視察します。

「原発事故収束宣言」「完全にコントロールの下にある」「復興は着々と進んでいる」という政府の発信と、観て・聴いた現実を是非比べて頂

被災地を観て・聴いて・考える スタディ・ツアーのご案内

宮城県産かきの出荷が始まっていますが、養殖に復帰する人が3分の1程度で出荷も激減が予想されています。

宮城県産かきの出荷が始まっていますが、養殖に復帰する人が3分の1程度で出荷も激減が予想されています。

そんななか私たちが作業を手伝ってきた東松島市高橋さんが育てる「長石のかき」は順調に成育しています。今秋は震災後初めての出荷で、かき剥きの補助作業をおこないます。

ツアーと補助作業へ参加希望者はどうぞ当組合に連絡ください。

最近の安倍首相の汚染水問題に関する子供だましの発言や、なりふりかまわない原発輸出策動、事故責任者の不起訴決定などを糾弾する怒りのアピール行動を、経産省を含む官庁、東京電力に向け一時間にわたり貫徹しました。

この日の参加者（主催者発表で4万人）の盛り上がり！
(東京東部労組 古澤)



10・25 JAL解雇撤回を勝ちとろう！ 控訴審勝利に向け一八八五人が結集



十月二十五日、「JAL解雇撤回、高裁勝利！早期解決をめざす10・25大集会」が、都内・文京シビックホールで開催され、会場一杯の一八八五人が参加して熱気あふれる集会となった。

はじめに、上条弁護士団長は、会社更生の機会に「物言う労組」の徹底排除を狙った不当労働行為である

という核心点を突き出して、早期結審をさせず尋問を実現したことは「鉄の扉を打ち破った実感」だと、明らかにされた。

客室原告団長の内田妙子さんからは、年内結審・三ヶ月判決という中、「不当判決に倍々返しする」との力強い決意表明があった。

世界各国から駆けつけたパイロットたちの○○の連帯表明もあった。パイロット原告団長の山口宏弥さんの高裁勝利の決意をうけ、最後に団結ガンバロウを大斉唱して感動的な集会を締めくくった。

★十二月二四日 十時半より

客乗裁判・口頭弁論（結審）

★十二月二六日 午前中

パイロット裁判

このたび、中金労働組合は二〇一三年十一月に満五〇歳を迎えることとなりました。これを記念して、十一月二日に京都駅近くのメルパルク京都において祝賀会を催し、日頃お世話になっていきます上部組織、

の参加者で少し残念です。

平賀委員長並びに、渡辺書記長には、遠方にもかかわらず参加頂きましてありがとうございます。事前の準備不足もあり、五〇年にわたる組合の歴史を報告することは出来ませんでした。現組合員の半数以上が勤続十年未満であり、近年の活の活動しか知りえませんが、

第33回大鵬薬品工業労働組合定期大会

二〇一三年十月五日（土）

午後一時より徳島クレメントホテルにて定期大会が開始された。

組合員数三五名、本人出席二一名、委任十四名で大会は成立した。

最初に四宮委員長の挨拶に始まり、多くの来賓より連帯の挨拶を頂き、二〇一三年度活動報告・会計報告・運動方針案が提起され、一括して原案が可決された。

その後新役員が選出された。

新役員は世代交代を図り新中央執行委員長に田辺利之が就任して3代目の委員長として、これからの舵取



執行部にも若年層が参加して盛り上げてくれることでしよう。



りをとる事となった。その他執行部も若返りを図った。

田辺新委員長は就任の挨拶として「組合員は職場で一般社員の模範となるべく真面目に働いて欲しい」「組合活動は対外活動も大事である。外で顔繋がりを作り仲間を多くする事が会社の攻撃を抑止して行く事に繋がるので。各自が協力出来る範囲で行動して欲しい」「私個人の意見を通すのではなく、みんなの意見・声を多く聞いた上で最終決断をしたい」と3点の要望を述べた。

若返りを図った大鵬薬品工業労働組合に対してこれからより一層のご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。



「秘密保護法」に反対しよう

●定期大会日程●

- 11月10日(日) 東京東部労組第40回大会 @カメラアブラザ・9:30～
きょうとユニオン第26回大会 @下京いきいきセンター13:30～
洛南ユニオン第13回大会 @南宇治コミュニティセンター
- 11月17日(日) ユニオン北九州第18回大会 @赤島公民館・12:00～
- 11月22日(金)～23日(土) 長野一般定期総会 @信州健康ランド
- 11月23日(土) 全国一般・全労働者組合第42回大会
@築地市場厚生会館・13:30～

**会津の労働者は孤立を恐れず闘いに前進する！
マルヤス工業闘争で、本社社前闘争を貫徹し、
上位会社日本精工に申し入れ行動をおこなう**

ふくしま連帯ユニオン

マルヤス工業は車両等に絶対必要とされるボールベアリングを製造する工場で、会津地域に2ヶ所で150名ぐらいの社員が在籍しています。会社社長の独善的



な運営・残業代未払い・残業の強要・不当降格等々に叛旗を翻し数人の社員が組合に加入して団交を開始したのは2011年2月からです。

会社側は組合の要求を無視し続け、組合員1名を解雇、別の1名を降格の上、出社停止にしました。

会社側は組合員攻撃の怪文書を全社員にばらまき、社長自ら社員を集め組合敵視の演説をして、組合と闘えと社員を先導する始末で、圧倒的な組合圧殺体制が出

十一・九米軍横田基地オスプレイ配備反対の 申し入れと抗議行動に結集しよう！！

七月三〇日に、米太平洋空軍のカライル司令官は記者会見で、新型輸送機C-22オスプレイの配備先として、沖縄嘉手納基地と東京横田基地を配備先としている事を明らかにした。2015年に配備するのを日本政府と協議していると発表している。極めて危険な動きになっています。

「米軍基地に反対する実

行委員会」は、すべての米軍基地反対とオスプレイ配備反対の立場から横田基地と基地内の自衛隊に対して、申し入れと抗議行動を午後一時半に、青梅線福生駅に集合して取り組みます。

多くの組合が積極的に参加頂ける様にお願ひ致します。

実行委員会事務局長

大森進

来ています。しかもこれら組合員の圧殺攻撃は組合員が裁判闘争に立ちあがった後に起こされています。闘争は泥沼化しております。

組合員の無条件職場復帰が訴えられました。そして当日は取引関係にある1部上場企業の日本精工にも労働法違反を続けるマルヤス工業を指導するよう要請文を手渡しました。組合圧殺の攻撃と闘い続ける組合員への支援をお願いします。

ブラックをホワイトに！ 音楽教室講師の若者たちがストライキに決起

東京東部労組EYS・STYLE支部

(株)EYS・STYLE(中央区銀座・吉岡秀和社長)が運営する「EYS音楽教室」の講師たちで7月に結成した東京東部労組EYS-STYLE支部(組合員は20代前半から

30代の若者たちが中心)は「トイレにも行けない」ほどの長時間労働、残業代の不払い等のブラック企業体質を改めさせるため、二日間のストライキに立ち上がった。



岩国行動2013への呼びかけ

「岩国は負けない！岩国で勝つ！」闘いは、沖縄をはじめ米軍基地所在地の住民など、有事法制―安保体制下で苦しむ人々の希望です。

オスプレイ訓練強行への大きな怒りが全国で巻き起こる中、岩国・労働者反戦交流集会は今回7回目をむかえます。

岩国連帯を全国にさらに広げていくために、参加・賛同をよろしく願ひします。

【開催要綱】

- 11月30日(土) 於・岩国市福祉会館
 - 15:00～「アジアから米軍総撤収を！岩国基地強化を許さない国際集会」
 - 17:00～「2013岩国・労働者反戦交流集会」、ほか
- 12月1日(日)
 - 10:00～ 愛宕山見守りの集い、基地フィールドワーク、「消えた鎮守の森」上映会
 - 12:30～ 岩国基地へ向けたデモ行進
 - 14:00 終了予定



「ラック企業を許さないぞ！」と抗議の声を上げた。

組合は今後も、長時間労働

働の是正等、働きやすい職場を求めて闘っていく。